PETER DAVID BETER・音声書簡 第26号

1977年9月30日

テーマ1 宇宙戦争収穫月の戦闘

1
ベターは1977年9月27日を宇宙における秘密の転機と表現した。



2
彼は月計画は隠された軍事計画だと解釈した。



3
ディエゴ・ガルシアから月への密かに月を飛行していたと主張する。

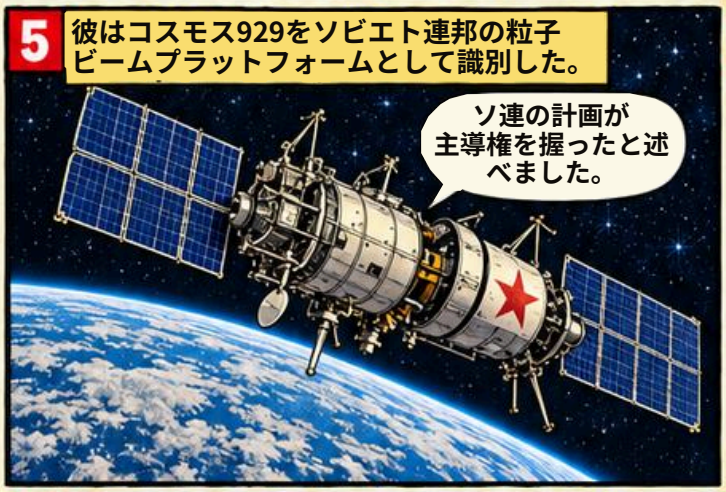


4
彼はコペルニクス火口にアメリカ軍のビーム兵器基地を置いた。

BETER'S ALLEGATION



5
彼はコスモス929をソビエト連邦の粒子ビームプラットフォームとして識別した。



6
彼は9月20日の空の現象を衛星攻撃と解釈した。



7
彼はソ連の光線が9月27日に月の基地を破壊したと主張する。

BETER'S ALLEGATION



8
彼の警告では、敗北が軍事的バランスを変えた。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第26号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第26号

1977年9月30日

テーマ2 ロックフェラー帝国の最後の日々

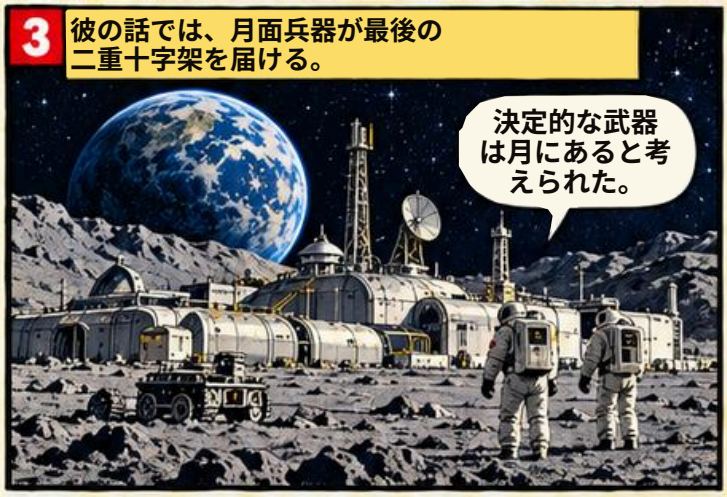
1 ベターはロックフェラーの利益とモスクワとの同盟が崩壊したと主張した。



2 戦争計画は兄弟の手に力を入れると、彼は主張した。



3 彼の話では、月面兵器が最後の二重十字架を届ける。



4 彼はこの勝利が神の介入として提示されると主張した。



5 彼はソ連の指導者が計画を発見し、最初に打ったと主張した。



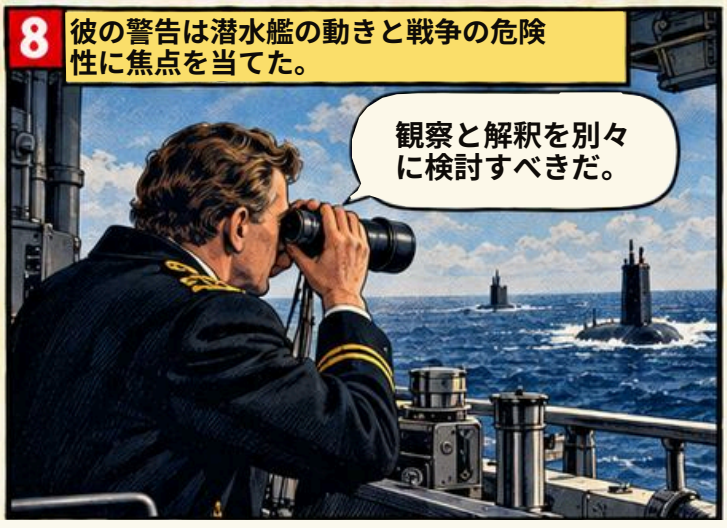
6 グロマー・エクスプローラは秘密の海底ミサイルを疑われている。



7 彼はグロミコの外交を、月が敗北したと疑われた後の最後通じだと解釈した。



8 彼の警告は潜水艦の動きと戦争の危険性に焦点を当てた。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第26号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第26号

1977年9月30日

テーマ3 記憶の中のアメリカンドリームは

1 ベターはワシントンの誠実さ、平和、道徳的責任の理想を呼んだ。



2 彼はこれらの理想と、マカイアベリの権力政治の読みとを対比した。



3 南北戦争のロシアによる北軍支援を称賛した。



4 1863年のロシア海軍の訪問は、彼の歴史的議論の中心となった。



5 彼はメイン大惨事を戦争感情を操った一例として扱った。



6 彼は戦争を長引く公判の衰退に結びつけた。



7 彼はリスナーに真実を求め、共通の利益のために行動するように促した。



8 彼の結論は、市民の義務、キリスト教の信仰、未来への恐怖を兼ね備えたものである。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第26号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。